特別非常勤講師（外国語活動）の候補者名簿登載希望調書（申込書）

提出日【令和７年　　月　　日】

写真

（3×4cm）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申し込む講座 | 特別非常勤講師（外国語活動）としての指導力養成講座 |  | 整理番号 | ※ 人事担当者記入欄 |
|  |  |  |  |  |
| フリガナ |  | **Ｅ－ｍａｉｌ（必須）　　（２行で記載）** |
| 氏　　名 |  |
| **＠**  |
| 生年月日 | 　年　　　月　　　日（令和８年３月31日時点　　　　歳） | 電話番号（必須） | 　　　　（　　　　　　）　 |
| 住　　所 | ﾌﾘｶﾞﾅ　 |
| 〒　　　－ |
| 　新←　〔職歴〕　→旧 | 年 | 月 | 職歴・内容 |
| 現職 | 　 |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 〔英語力に関すること〕 | 年 | 月 | 検定・認定及びそのスコア | **英語を日常的に用いる(用いた)職務の****具体的な内容や期間・頻度等** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| **ＣＥＦＲ換算**　　　　　　　　　　　いずれかチェック□ ＣＥＦＲ Ａ２～Ｂ１ 　 □ ＣＥＦＲ Ｂ２以上 | **英語を日常的に用いる(用いた)職務経験** いずれかチェック□ 現職かつ３年以上 　　　　□ 過去に１年以上 |
| **教員免許の有無**　　□　なし　　□　あり　⇒　種別等：　　　　　　 |
| **志望動機** | **特記事項**応募資格の「重視する資格等」に該当があれば記載 |
| **「特別非常勤講師」として活動可能な地域**複数選択・チェック推奨別紙４の表を参照して、地区の番号などを記載してください。ブロック全体で活動可能であれば当該ブロックにチェックを入れてください。活動可能な地区の番号（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□ 区部東ﾌﾞﾛｯｸ全体　　□ 区部北ﾌﾞﾛｯｸ全体　　□ 区部南ﾌﾞﾛｯｸ全体□ 多摩北ﾌﾞﾛｯｸ全体　　□ 多摩南ﾌﾞﾛｯｸ全体　　□ その他調整も可 | **「特別非常勤講師」として活動が可能な時期**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **月** | **活動できる曜日に○をしてください。** | **計** |
| **9月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 |  | 日 |
| **10月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 |  | 日 |
| **11月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 |  | 日 |
| **12月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 |  | 日 |
| **１月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 |  | 日 |
| **２月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 |  | 日 |
| **３月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 |  | 日 |

 |
| 〔欠格事由に関する申告〕□　以下の地方公務員法第16条に定める採用に関する欠格事由等**全てに該当しない場合は、左の□にチェックを入れてください**。・拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者・東京都職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から２年を経過しない者・人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、地方公務員法第60条から第63条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者・民法の一部を改正する法律（平成11年法律第149号）附則第３条第３項の規定により従前の例によることとされる準禁治産者 |
| 〔日本国籍の有無・在留資格・在留期間〕□　**外国人（出入国管理及び難民認定法第２条第１項「日本の国籍を有しない者」）の場合は、左の□にチェックを入れてください**。また、以下に在留資格及び在留期間を記入してください。・在留資格（　　　　　　　　　　　）　・在留期間（　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日） |
| 〔備考〕※ 人事担当者記入欄 |

特別非常勤講師（外国語活動）の候補者名簿に係る登載希望調書 兼 指導力養成講座受講申込書

提出日【*令和７*年*６*月*30*日】



|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特別非常勤講師（外国語活動）としての指導力養成講座 |  | 整理番号 | ※ 人事担当者記入欄 |
|  |  |  |  |
| **△△　　△△** |  ***a b c d e f \* \* \* \* \******Ｅ－ｍａｉｌ（必須）　　（２行で記載）** |
| **○○　○○** |
| **＠ *g h i j k l . ne. jp*** |
| 昭和*○○*　年　*○○*　月*○○*　日（令和７年３月31日時点　*○○*　歳） | 電話番号（必須） | 　*０００（　００００　）００００*判別しづらい「1（ｲﾁ）」や「ｉ（ｱｲ）」、「ｌ（ｴﾙ）」等は特にしっかりと表記して、場合によってはフリガナをふってください。 |
| ﾌﾘｶﾞﾅ　　　　　　　　　*～～～　～～～* |
| 〒　*○○○*－*○○○○**～～～　～～～　～～～　～～～　～～～　～～～* |
| 年 | 月 | 職歴・内容 |
| 現職 | 　 | *○○○株式会社　客室乗務グループ* |
| *平成28年* | *４月* | *同上　採用* |
| *平成25年* | *４月* | *株式会社○○スタッフ　採用　（同社から派遣された先の百貨店等で接客業務）* |
| *平成20年* | *７月* | *株式会社◇◇子供英語塾　採用　（契約社員）* |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 年 | 月 | 検定・認定及びそのスコア | **英語を日常的に用いる(用いた)職務の****具体的な内容や期間・頻度等***外国籍の旅客への各種手続の案内やその他**接遇を行う業務約５年間、週に４日以上従事* |
| *平成31年* | *４月* | *TOEIC　L&R　スコア700* |
| *平成28年* | *10月* | *英検　２級　CSEスコア　2,200* |
|  |  |  |
|  |  |  |
| **ＣＥＦＲ換算**　　　　　　　　　　　いずれかチェック■ ＣＥＦＲ Ａ２～Ｂ１ 　 □ ＣＥＦＲ Ｂ２以上 | **英語を日常的に用いる(用いた)職務経験** いずれかチェック■ 現職かつ３年以上　　　　□ 過去に１年以上 |
| **教員免許の有無**　　□　なし　　■　あり　⇒　種別等：*中学校教諭１種（音楽）**、高等学校教諭１種（音楽）* |
| **志望動機***未来の東京を担う小学生に、学校で学んだ英語を社会で活用することで、お客様に喜ばれる仕事をできたときの充実感を伝えていきたい。外国人観光客に応対した際、落ち着いて明るくコミュニケーションを取ったことで、お客様に十分満足していただけた経験などを、英語を話すことや外国人とのコミュニケーションに苦手意識のある子供に伝えていきたい。*　教員免許を有する場合は種別（校種・教科等）を記載してください | **特記事項**応募資格の「重視する資格等」に該当があれば記載・英語塾において、小学生以下の児童に英語指導を行う業務を年間750時間×４年間経験 |
| **「特別非常勤講師」として活動可能な地域**複数選択・チェック推奨別紙４の表を参照して、地区の番号などを記載してください。ブロック全体で活動可能であれば当該ブロックにチェックを入れてください。活動可能な地区の番号（　*21足立区ほか区部*　　　　　　　　　）■ 区部東ﾌﾞﾛｯｸ全体　　■ 区部北ﾌﾞﾛｯｸ全体　　■ 区部南ﾌﾞﾛｯｸ全体□ 多摩北ﾌﾞﾛｯｸ全体　　□ 多摩南ﾌﾞﾛｯｸ全体　　■ その他調整も可 | **「特別非常勤講師」として活動が可能な時期**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **月** | **活動できる曜日に○をしてください。** | **計** |
| **９月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 | **４** | 日 |
| **10月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 | **４** | 日 |
| **11月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 | **４** | 日 |
| **12月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 | **４** | 日 |
| **１月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 | **１** | 日 |
| **２月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 | **１** | 日 |
| **３月** | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 週 | **３** | 日 |

 |
| 欠格事由に関する申告「特別非常勤講師」として授業が可能な曜日や週当たりの日数を記載してください■　以下の地方公務員法第16条に定める採用に関する欠格事由等**全てに該当しない場合は、左の□にチェックを入れてください**。・拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者・東京都職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から２年を経過しない者欠格事由に該当しないことを確認し、チェックを入れてください・人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、地方公務員法第60条から第63条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者・民法の一部を改正する法律（平成11年法律第149号）附則第３条第３項の規定により従前の例によることとされる準禁治産者 |
| 〔日本国籍の有無・在留資格・在留期間〕□　**外国人（出入国管理及び難民認定法第２条第１項「日本の国籍を有しない者」）の場合は、左の□にチェックを入れてください**。また、以下に在留資格及び在留期間を記入してください。・在留資格（　　　　　　　　　　　）　・在留期間（　　　年　　月　　日～　　　年　　月　　日） |
| 〔備考〕※ 人事担当者記入欄 |